# 令和５年第４回（８月）瀬戸内市議会定例会一般質問通告一覧表

| 発言順序 | 議席番号<br>氏名 | 質問事項 | 質問の要旨 | 答弁を求める者 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 12 番<br>島津幸枝 | 1.　健やかに学べる学校環境について | (1) 学校施設長寿命化計画の見直し点と方針は<br>(2) 体育館へのエアコン設置を<br>(3) 小・中学校の３０人学級化の検討を | 市長<br>教育長<br>担当部長 |
| | | 2.　地域新電力について | (1) ６月議会で予算化された地域電力会社運営計画策定等委託料の執行状況と、その活用は<br>(2) 地域電力会社の運営主体はどうなるのか。また共同提案者はそれぞれ今後どうかかわってくるのか | 担当部長 |
| | | 3.　地域ビジネス支援センター整備基本計画について | (1) 概算事業費約８億円とあるが、多額の経費をかけて施設整備をする必要性はあるのか<br>(2) 商工会の移転先との説明があったが、地権者である商工会との契約、協定はどうなるのか | 市長<br>担当部長 |

| 発言順序 | 議席番号<br>氏名 | 質問事項 | 質問の要旨 | 答弁を求める者 |
|---|---|---|---|---|
| 2 | ４番<br>秦井誠司 | 1. プラスチックごみ問題について | (1) 令和４年４月よりプラスチックごみの削減とリサイクル促進を目標とするプラスチック資源循環促進法が施行されているが、当市の対策と取組に対する考えは<br>(2) 各自治体において、いわゆるプラスチックごみゼロ宣言がなされ、行政や地域住民、企業団体などが団結をして環境問題に取り組む機運が高まっているが、プラスチックごみゼロ宣言を取り入れる考えは | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| | | 2. ＤＸ推進について | (1) デジタル田園都市国家構想交付金により進めている書かない窓口、公開型ＧＩＳの内容、及び市民にとってどのような利点があるのか。また、それらの進捗と稼働予定はどのようになっているのか<br>(2) 令和６年度以降のＤＸ推進についての取組や方向性についての考えは<br>(3) デジタル化を推進していく上では欠かせないのが本人確認ができるマイナンバーカードであるが、マイナンバーカードの普及促進についてどのように考えているのか<br>(4) テレワークの推進について、実績と今後の考えは | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| 3 | 18 番<br>室﨑陸海 | 1. 海ごみの処理について | (1) 台風による川からのごみや、不法投棄による海ごみの処理が全国的に問題になっているが、本市においては、これまでどのように処理してきたのか。また、現在はどのように処理しているのか | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| | | 2. 牛窓の町並みの整備について | (1) 牛窓の町並みは、由緒ある旅館の廃業や、社会情勢の変化、高齢化等により、さびれていく一方である。空き家を活用し、伝統産業の紹介や、飲食店の誘致等、新たな観光拠点をつくってはどうか | 市長<br>副市長<br>担当部長 |

| 発言順序 | 議席番号<br>氏名 | 質問事項 | 質問の要旨 | 答弁を求める者 |
|---|---|---|---|---|
| 3 | 18番<br>室﨑陸海 | 3.　前島の住民の救急搬送について | (1) 深夜の前島の病人やけが人を搬送する救急搬送船を造ってはどうか | 市長 |
| 4 | 14番<br>小野田光 | 1.　熱中症対策について | (1) 環境省と文部科学省は、令和３年５月に「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き」を作成しているが、本市のガイドライン作成は、どうなっているのか<br>(2) 熱中症予防の普及啓発・注意喚起をどのようにしているのか。またそれは十分であるか<br>(3) 保育園、幼稚園、小・中学校のガイドライン作成状況は<br>(4) 登下校時を含む学校園生活での暑さによる体調不良や熱中症対策は<br>(5) 学校園での飲料水の確保は<br>(6) 体育授業・部活での対応は<br>(7) ＷＢＧＴ（暑さ指数）測定器の配備状況は<br>(8) 行政報告の「来年度に向け、組織横断的な熱中症対策を検討していく」とは、具体的にはどのようにしていくのか | 市長<br>教育長<br>担当部長 |
| | | 2.　ＪＲ駅前等整備事業について | (1) ＪＲ邑久駅前整備の進捗状況はどのようになっているのか<br>(2) 駅前整備事業に関連する地域ビジネス支援センター整備事業の進捗状況は<br>(3) 地域ビジネス支援センター整備費用の財源として、国のデジタル田園都市国家構想交付金を充てる計画とのことだが、採択されるのか | 副市長 |

| 発言順序 | 議席番号<br>氏名 | 質問事項 | 質問の要旨 | 答弁を求める者 |
|---|---|---|---|---|
| 4 | 14番<br>小野田光 | 3.　災害対策について | (1) 個別避難計画はどうなっているのか<br>(2) 学校園における防災教育は、どのようにしているのか | 副市長<br>教育長<br>担当部長 |
| | | 4.　道の駅について | (1) 道の駅の現状及び今後の在り方について | 市長 |
| 5 | 7番<br>日下俊子 | 1.　ＪＲ駅前等整備計画について | (1) 短期計画の終わりが見えた今、中長期計画は<br>(2) 中長期計画にある、長船駅のバリアフリー化を急ぐべきでは<br>(3) 長船駅前の道路整備も、考えるときではないか<br>(4) 以前の半分以下になっている長船駅の駐車場だが、計画の見直しが必要では<br>(5) 長船駅の不要になったトイレを撤去すべきでは | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| | | 2.　吉井川下流の治水計画について | (1) 令和元年から取り組んでいる総合治水計画、吉井川下流域整備計画の現状は<br>(2) 有事の際のポンプ稼働の判断はどう行うのか<br>(3) 豆田の排水ポンプの増設の要望書が以前から出ているが、増設を要望する考えは<br>(4) 一級河川、二級河川のしゅんせつが必要と考えるが、積極的に県に要望すべきでは<br>(5) 昨今の豪雨災害を踏まえて、総合治水から流域治水への転換が図られているが、本市の内水排除対策をどう考えているか | 市長<br>副市長<br>担当部長 |

| 発言順序 | 議席番号<br>氏名 | 質問事項 | 質問の要旨 | 答弁を求める者 |
|---|---|---|---|---|
| 6 | 10番<br>竹原　幹 | 1.　市長の政治姿勢について | (1) 市長と職員の半数が市外からの通勤と聞くが、これをどう評価しているのか。また、定住・移住施策をどう進めていくのか、危機管理上問題はないのか | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| | | 2.　職務の在り方について | (1) 市民との信頼関係は、現場主義により構築されるものと理解しているが、これをおろそかにしていないか。市民からの相談、要望に対して、どのように対応し、どう処理しているのか | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| | | 3.　庁舎内の環境整備について | (1) 本庁西棟の改修工事が完成したが、本庁舎を含め全体に余裕がないと考える。職務に支障が出たり、市民が訪れにくい環境になっていないか | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| | | 4.　吉井川高水敷の利活用と、雑木伐採について | (1) 吉井川高水敷の利活用と、雑木伐採、草刈りを強く国に働きかけるべきでは | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| 7 | ３番<br>成本　崇 | 1.　農業における緑肥作物の活用について | (1) 緑肥作物を活用して、環境負荷低減の農業を推進する考えは<br>(2) 農林水産省のみどりの食料システム戦略でも緑肥の活用についての記載があるが、国の助成制度を活用する考えは | 市長<br>副市長<br>担当部長 |

| 発言順序 | 議席番号<br>氏名 | 質問事項 | 質問の要旨 | 答弁を求める者 |
|---|---|---|---|---|
| 7 | ３番<br>成本　崇 | 2.　公民館や体育施設の熱中症対策について | (1) 公民館、体育施設でのエアコン設置状況は<br>(2) 災害等での避難所として使用時の熱中症対策は | 市長<br>副市長<br>教育長<br>担当部長 |
| | | 3.　災害ごみ処分の対応について | (1) 瀬戸内市災害廃棄物処理計画において、一次仮置場及び二次仮置場の想定箇所は<br>(2) 市民仮置場は各地域で想定しているのか | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| 8 | ６番<br>岩田惠一 | 1.　里山地域について | (1) 里山地域は狭く耕作しにくい耕作放棄地が目立つが、里山地域の耕作放棄地の面積の増減は<br>(2) 里山地域の耕作放棄地の農業振興施策・利用施策は<br>(3) 農業集落の人口減少・高齢化が進み、現在地域ごとで行っている里山の維持管理・整備が困難になってきているが、対策は<br>(4) 昨年自走式草刈り機の導入を提案したが、進捗状況は | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| | | 2.　市民活動について | (1) 瀬戸内市内でボランティア活動されている個人や団体が大勢いるが、表彰制度を設けてはどうか | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| | | 3.　外国人相談窓口の設置について | (1) ９月１日より在住外国人相談窓口が開設されるが、来庁時からの対応手順と相談場所は<br>(2) 休日、夜間の窓口開設が必要と思うが | 副市長<br>担当部長 |

| 発言順序 | 議席番号<br>氏名 | 質問事項 | 質問の要旨 | 答弁を求める者 |
|---|---|---|---|---|
| 9 | ９番<br>河本裕志 | 1.　空き家政策について | (1) ２０１４年制定の空家等対策特別措置法により、自治体が特定空き家を指定でき、勧告措置を行える。しかし、放置された空き家は老朽化が進み、近隣への安全面や防犯上の悪影響が大きくなっている。空き家になってから、特定空き家になるまでに早期の対応が望まれる。市の考えを問う<br>①市が把握している空き家は、何棟あるのか<br>②特定空き家はあるのか<br>③特定空き家に認定した中で、必要な処置が行われた件数は<br>④管理不全の空き家の件数を把握しているのか<br>⑤空家等対策特別措置法が改正成立したが、対策の考えは<br>⑥空き家を活用するためにも、空き家バンクに登録しやすくできるように補助を考えられないか | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| | | 2.　少子化と人口減少対策について | (1) ２０２０年時点の国勢調査によると、１５歳以上の人口を配偶関係別にみると、未婚や配偶者との離別、死別を合わせた全ての独身人口は、６５歳以上の高齢人口より多い「超独身国家」といえる状況である。世帯増、人口増につながる市の考えを問う<br>①結婚支援事業の実績は<br>②令和５年度の計画は<br>③備前市以外の自治体との連携は考えているのか<br>④今後どのように進めていくのか | 市長<br>副市長<br>教育長<br>担当部長 |

| 発言順序 | 議席番号<br>氏名 | 質問事項 | 質問の要旨 | 答弁を求める者 |
|---|---|---|---|---|
| 10 | 15番<br>石原芳高 | 1. 副市長の政治姿勢について | (1) 副市長の責務をどのように考えているのか | 市長<br>副市長 |
| | | 2. 空き家・空き地対策について | (1) 市内に固定資産等を所有した状態で転出した場合、転出先の把握はどうなっているのか | 市長<br>担当部長 |
| | | 3. 道路整備について | (1) 用水沿いの道路の経年劣化が著しく見受けられる。その場しのぎの保全ではなく計画性を持って整備していくべきではないか | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| 11 | 8番<br>厚東晃央 | 1. 市営住宅整備計画について | (1) 邑久地域の建て替え事業の進捗状況は<br>(2) 建て替え予定の周辺住民、自治会説明の状況は<br>(3) 今後のスケジュールは | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| | | 2. 国民健康保険の負担軽減について | (1) 国民健康保険税の引き下げをすべきではないか<br>(2) 子どもに係る国民健康保険税の均等割を廃止すべきではないか<br>(3) 現在の紙の健康保険証の継続をすべきではないか | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| | | 3. 子育て環境の改善について | (1) 保育園、こども園の１クラスあたりの人数を国で見直しされている。市の対応は<br>(2) 放課後児童クラブ（学童保育）の待機児童への対策は | 市長<br>副市長<br>担当部長 |

| 発言順序 | 議席番号<br>氏名 | 質問事項 | 質問の要旨 | 答弁を求める者 |
|---|---|---|---|---|
| 12 | １番<br>木下公文 | 1.　不当要求行為等防止対策について | (1) 不当要求行為等について、どのような事例があり、どう対処しているのか<br>(2) ガイドラインを作成して、職員に周知を徹底するべきでは | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| | | 2.　空き家対策について | (1) 瀬戸内市協働の空き家活用促進事業補助金の制度があるが、今までの交付件数をどのように捉えているか。また、上限額を見直してはどうか<br>(2) 災害があった場合に倒壊のリスクがあるが、市としてどう対処するのか | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| | | 3.　県道、市道の草刈りについて | (1) 通学路、交通事故等起こる可能性のある箇所への対応は<br>(2) 空き地、民地から伸びた箇所の対応は | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| | | 4.　消防団員の増員について | (1) 減少傾向にある消防団員について、具体的な改善策は。また、啓発ポスター等で周知を図っているが、成果は | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| | | 5.　市営バスについて | (1) 主だった停留所に駐輪場や屋根を設置してはどうか | 市長<br>副市長<br>担当部長 |

| 発言順序 | 議席番号<br>氏名 | 質問事項 | 質問の要旨 | 答弁を求める者 |
|---|---|---|---|---|
| 13 | ５番<br>川勝浩子 | 1.　防災・減災について | (1) 要配慮者の把握と、個別避難計画の現状は<br>(2) 災害時に避難所で支援が必要な人への、具体的な対応策は<br>(3) 避難所に支援が必要なことを周囲に知らせる、障がい者用のバンダナ等を置いてはどうか<br>(4) 小・中学校などでの防災教育は、具体的にはどのようにしているのか | 市長<br>副市長<br>教育長<br>担当部長 |
| | | 2.　ＪＲ駅前等整備計画について | (1) 大富駅前の工事は終了したが、今後の中長期計画のスケジュールは<br>(2) 地元住民の意見を聞く機会を作る考えはあるか | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| | | 3.　がん対策について | (1) 子宮頸がんと乳がん検診の無料クーポンの対象者数と利用者数は<br>(2) がん患者の心理的・経済的負担軽減のため、ウイッグや乳房補整具等の購入費用の助成をしてはどうか | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| | | 4.　宿泊施設について | (1) 邑久、長船地域に、観光やビジネスのための宿泊施設を作ってはどうか<br>(2) 空き家の利活用はできないか | 市長<br>副市長<br>担当部長 |

| 発言順序 | 議席番号<br>氏名 | 質問事項 | 質問の要旨 | 答弁を求める者 |
|---|---|---|---|---|
| 14 | ２番<br>嶌原　舞 | 1.　牛窓の今後について | (1) 邑久や長船は駅の再開発が進み、商業や新築住宅が増え活性化し、人口も増えている。一方で、牛窓は空き家や耕作放棄地が増え、高齢化が進み人口の自然減少が起こっている。市の考えを問う<br>①市はこの現状をどのように捉えているのか<br>②今後、牛窓の人口を増やす施策は<br>(2) 牛窓は瀬戸内市の重要な観光地の一つであると考えるが、市が立てている「ごみを捨てるな」などの看板の一部がメンテナンス不足により劣化し、景観を損ねているものがある。市の対応について問う<br>①市内、または牛窓内で、市が立てている看板の数は把握しているか<br>②文字が消えているような看板のメンテナンスはどのようなルール、マニュアルによって行っているのか<br>③美観を損なわないよう、不要な看板は撤去し、情報を正しく伝えるためのルール作りが必要ではないか | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| | | 2.　大富駅について | (1) 駅周辺に時間貸しの駐車場がないため、不便であるという市民の声がある。邑久駅や長船駅のように、市営駐車場が必要ではないか | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| | | 3.　自転車の利用について | (1) ヘルメット着用が努力義務となったが、事故を防ぐための啓発活動は具体的にどのように行っていくのか<br>(2) 自転車保険の加入が義務化されている自治体は、２０２３年４月時点で３２都府県１政令市である。岡山県は岡山市のみ義務化されているが、本市の考えは | 市長<br>副市長<br>担当部長 |

| 発言順序 | 議席番号<br>氏名 | 質問事項 | 質問の要旨 | 答弁を求める者 |
|---|---|---|---|---|
| 15 | 13 番<br>原野健一 | 1.　公有財産について | (1) 錦海塩業の本社跡地および工場跡地等の土地利用計画もしくは売却計画は立てているのか<br>(2) 塩田跡地 500 ヘクタールの中で、メガソーラー用地、ハビタット用地、アッケシソウ自生地以外の土地利用は契約上可能であるのか | 市長<br>副市長<br>担当部長 |
| | | 2.　道路行政について | (1) 牛窓の活性化を図る一つとして、市道錦海師楽線を有効活用した道路整備が必須だと思われるがその計画はないのか | 市長<br>副市長<br>担当部長 |